



この広報誌は、皆様にご協力いただいた赤い羽根共同募金を財源として作成しています。

あぐいの

福祉

No.149
2025.5.1

令和七年四月二日より、高齢者の相談窓口「阿久比町地域包括支援センター」が役場庁舎一階からオアシスセンター三階に引越しました。
ふんぽにお気軽にお越しください！



主な内容

- 会員募集にご協力をお願いします
- 令和7年度事業計画、予算概要
- 社会福祉協議会の活動状況
- C S Wにご相談ください
- ころのお悩み無料相談室
- あぐいグイグイネット
- スポットあぐい
- 善意をありがとう
- 職員紹介
- ヘルパー募集
- 雑記

目の不自由な方があぐいの福祉を利用できるよう声の広報ボランティア「あいうえお」の皆さんがCDに音訳録音しています。
録音したCDは、利用希望者へ無料で送付します。

■ 問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター 電話 48-7711 ■

会員募集 にご協力をお願いします

阿久比町社会福祉協議会は、住民の皆さんが主体となる“福祉のまちづくり”に取り組んでいます。会費は、住民の皆さんによる福祉活動の担い手となるボランティアの育成や支援などの貴重な財源となります。

社会福祉協議会会員の入会にご理解、ご協力をお願いします。会費の使い道は、令和7年度事業計画や予算もご覧ください。

令和6年度会費実績

4,263,061円

ご協力
ありがとう
ございました

会員の種類

- *一般会員……年額 500円
- *賛助会員……年額 2,000円
- *特別会員…1口年額 5,000円

会費の使い道

“福祉のまちづくり”を推進するため、次のような事業を行っています



萩地区サロン

地域いきいき福祉活動の推進

地域いきいき福祉活動（サロン活動や見守り訪問、独自活動）を助成しています。

ボランティア活動の推進

ボランティアセンターでは、町内のお困りごとに対する福祉活動の担い手作りとして各種のボランティア講座を実施しています。



災害ボランティア
コーディネーター養成講座



福祉実践教室

福祉実践教室の開催

町内のすべての小中学校で、車いす、手話、認知症、発達障がい者などへの理解を図る目的で福祉実践教室を行っています。

福祉相談活動の推進

心配ごと相談、コミュニティソーシャルワーカーによる相談など、どこに相談していいかわからない身近な相談を受け、一緒に問題解決のお手伝いをします。

車いすの貸出事業

介護保険を利用されていない方で、外出等に車いすの必要な方に、10日を限度に無料で貸出しています。

子ども用も
あります



令和7年度事業計画、予算概要

事業計画

【基本理念】

すべての人が地域で共に生き、支え合う『つながる』まちあぐい

【事業概要】

1. 法人運営事業

- ◎理事会・評議員会・監査の開催
- ◎評議員選任・解任委員会の開催
- ◎広報「あぐいの福祉」の発行

2. 地域福祉推進事業

- ◎社会福祉協議会会員募集
- ◎地域いきいき福祉活動助成
- ◎車いすの貸出し
- ◎ダイヤモンド婚者・金婚者お祝いの会（町受託）
- ◎地域福祉計画推進事業（町受託）
- ◎地域福祉計画策定事業（町受託）

3. ボランティアセンター活動事業

- ◎ボランティア情報の発行
- ◎ボランティア相談
- ◎ボランティア保険の加入啓発
- ◎ボランティア団体活動助成
- ◎災害救援・福祉救援活動の推進、災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- ◎小中学校での福祉実践教室
- ◎ボランティア入門講座、手話奉仕員養成講座、ボランティア交流会の開催（町受託）
- ◎声の広報の発行（町受託）

4. 赤い羽根共同募金配分金事業

- ◎共同募金運動の実施
- ◎みんなの敬老会、あぐいみんなのスポーツディ、福祉団体、福祉協力校への助成
- ◎一人親家庭レクリエーション大会の開催
- ◎福祉車両による送迎サービス活動
- ◎ホームページによる情報発信
- ◎生活困窮者への食糧支援
- ◎社会福祉大会の開催

5. 資金貸付事業（県社協受託）

- ◎生活福祉資金の貸付相談活動
- ◎生活福祉資金フォローアップ事業
- ◎くらし資金の貸付相談活動

6. 居宅介護事業

- ◎ホームヘルパーの訪問による居宅介護活動（訪問介護、総合事業）

7. 居宅介護支援事業

- ◎ケアマネジャーによるケアプラン作成相談事業

8. 心配ごと相談事業

- ◎心配ごと相談所を開所・相談活動（月2回）

9. 福祉基金運営事業

- ◎福祉基金への寄付の受付や基金の運用管理

10. 日常生活自立支援事業（県社協受託）

- ◎判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用料等の支払いを生活支援員と協力して行う活動

11. 重層的支援体制整備事業（町受託）

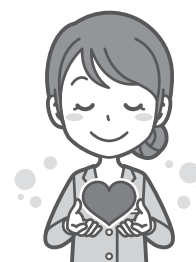
- ◎参加支援事業
- ◎多機関協働事業
- ◎アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ◎生活支援体制整備事業

12. 阿久比町包括支援センター事業（町受託）

- ◎高齢者の総合相談支援業務

13. 福祉7団体の事務局をしています

団体名
★いきいきクラブ連合会
★子ども会連絡協議会
★身体障害者福祉会
★手をつなぐ育成会
★遺族会
★母子寡婦福祉会
★精神障害者家族会



予算概要 147,628,000円

項目	金額(円)	割合(%)
会費収入	4,264,000	2.9
寄付金収入	420,000	0.3
補助金収入	51,572,000	34.9
共同募金配分金収入	3,793,000	2.6
受託金収入	53,052,000	35.9
貸付事業収入	490,000	0.3
負担金収入	60,000	0.1
事業・その他収入	78,000	0.1
介護保険事業収入	6,197,000	4.2
福祉基金等利息収入	460,000	0.3
サービス区分間繰入金収入	21,866,000	14.8
繰越金収入	5,376,000	3.6
合計	147,628,000	

項目	金額(円)	割合(%)
法人運営、退職積立金事業	46,864,000	31.7
地域福祉推進事業	2,408,000	1.6
ボランティアセンター活動事業	1,517,000	1.0
共同募金配分金事業	4,236,000	2.9
資金貸付事業	3,290,000	2.2
居宅介護事業	8,002,000	5.4
居宅介護支援事業	1,223,000	0.8
心配ごと相談事業	62,000	0.1
基金運営事業	2,291,000	1.6
日常生活自立支援事業	426,000	0.3
生活支援体制整備、地域福祉相談支援事業	23,427,000	15.9
地域包括支援センター事業	32,016,000	21.7
サービス区分間繰入金支出	21,866,000	14.8
合計	147,628,000	

社会福祉協議会の活動状況

いきいきクラブが町内の幼保小中高等学校・福祉施設に雑巾を配布しました。

2月7日(金) 阿久比町いきいきクラブ連合会の皆さんが、会員に呼びかけて集めた約2,500枚の雑巾を町内の幼保認定こども園、小中高等学校、福祉施設等に配布しました。

雑巾を受け取った皆さんからは「日々の清掃活動で使わせていただいています。ありがとうございます！」との声が聞かれました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



あぐいの「まちライター」講座を開催しました。

3月8日(土) エスペランス丸山にて、地域活動や阿久比の魅力をSNSなどで発信する担い手を増やすことを目的に、「あぐいの「まちライター」講座」を開催しました。

愛知の情報誌「CHEEK」の元編集長の山田有真さんを講師に、文書の書き方やキャッチコピーの作り方、写真の撮り方などを実際に周辺のまち歩きをしながら学びました。



災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました。

3月15日(土) 保健センター駐車場にて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。防災ボランティアあぐい、災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者が参加し、ボランティアの受付やその流れを模擬体験しました。

職員から昨年1月に発生した能登半島沖地震の現地での派遣活動の発表なども行い、参加者の皆さんは真剣な面持ちで訓練に参加されていました。



音訳講座を開催しました。

3月17日(月)・18日(火)・24日(月)の三日間で、ボランティアをはじめめるきっかけとなることを目的に「音訳講座」を開催しました。

音訳は文字で書かれた広報などの出版物を音声にして伝える活動です。参加者からは「本の読み聞かせとは違い、広報などは抑揚をつけない方がいいことなどを学び勉強になった」などの声がありました。



地域の福祉相談員 「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」にご相談ください。

阿久比町では、地域に出向き住民のみなさんからさまざまな相談を受ける専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を配置しています。



- 長くひきこもり状態で外出できない
- 片づけられずに物があふれている
- 助けてほしいが、何を相談したらいいかわからない
- 近所に心配な方がいるがどうしたらよいか、わからない
- そんな時はコミュニティソーシャルワーカー（CSW）にご相談ください！

※高齢、障がいをお持ちの方に限らず、子育て世代、生活困窮者など、支援を必要とするすべての地域住民とその家族を対象としています。

地域の福祉相談員
「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」
阿久比町社会福祉協議会 加藤・永田
電話 0569-48-7711
メール agui-sw@cac-net.ne.jp



こころのお悩み無料相談室を利用しませんか

この事業は、皆様から寄せられました赤い羽根共同募金の一部で実施します

こころの中でいろいろ悩んでいるが、どこに相談していいかわからない方、臨床心理士に相談しませんか？秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

●相談日／	5月	27日(火)	8月	26日(火)	11月	25日(火)	1月	27日(火)
	6月	24日(火)	9月	30日(火)	12月	23日(火)	2月	24日(火)
	7月	22日(火)	10月	28日(火)			3月	24日(火)

- 場所／オアシスセンター 2階会議室
- 時間／午後2時～4時
- 対象／阿久比町在住の方
- 定員／1日2組（相談時間は1組45分間）（1組目は午後2時～、2組目は午後3時～）
- 費用／無料
- 申込／阿久比町社会福祉協議会へ電話・メールで予約してください。
電話 0569-48-7711 メール agui-sw@cac-net.ne.jp

このコーナーでは、阿久比町で
気になるボランティア、NPO、
福祉施設の場所や活動の
ニュースをご紹介します。



『安心してボランティア活動をおこなうため』
ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険のご案内！

【**加入手続き**】は、阿久比町社会福祉協議会（オアシスセンター3階）に加入申込書がありますので、印鑑と掛金を持参してお申込みください。

【**ボランティア活動保険**】とは、国内でのボランティア活動中、ボランティア本人がケガをした場合（病気は対象外）、ボランティアが損害賠償事故を起こした場合（自動車等運転中の対人・対物賠償事故は対象外）の補償をする保険です。個人でもグループでも加入できます。

◎補償期間：加入手続完了日の翌日午前0時から2026年3月31日午後12時まで

1名当たりの年間保険料	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン掛金	250円	300円	500円
天災プラン (地震、噴火、津波によるケガも補償)	400円	500円	800円

【**ボランティア行事用保険**】とは、国内での福祉活動やボランティア活動などを目的とする団体等が主催する行事で、参加者がケガをした場合（傷害事故）や、ケガをさせた場合（賠償事故）の補償をする保険です。

◎補償期間：行事開催期間

◎**日帰り行事**は、1行事の参加者20名以上が対象。
行事内容で次の3区分あり、加入は1名1行事です。

行事区分	A行事	B行事	C行事
活動内容	講習会、盆踊り、遠足（日帰り）、バス旅行、炊き出し、バザーなど	運動会、マラソン、キャンプ（日帰り）、市民活動向け防災訓練など	合気道、アイスホッケー、空手など
保険料	1名・1行事 30円	1名・1行事 127円	1名・1行事 248円

◎**宿泊行事**（1名につき）

行事区分	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
保険料	222円	272円	278円	328円	334円	340円

◎補償内容

	保険金の種類	ボランティア活動保険			ボランティア行事用保険
		Aプラン	Bプラン	Cプラン	
傷害補償	死亡保険金	620万円	840万円	1,230万円	315万円
	後遺障害保険金				
	入院保険金日額 (1日につき)	4,400円	5,400円	8,400円	3,300円
	通院保険金日額 (1日につき)	2,800円	3,200円	5,800円	2,200円
賠償補償	対人・対物共通	5億円(限度額)			対人2億円 対物1千万円
	人格権侵害				

このコーナーでは、今、阿久比町で
気になるボランティア、NPO、福祉施設
の場所や活動のニュースをご紹介します。



ボランティアフェスティバルを開催しました！

令和7年1月26日にボランティアフェスティバルを阿久比町立中央公民館にて開催しました。当日の様子をご紹介します！

ボランティアフェスティバルは、町民の皆さんにボランティア活動を知っていただく機会とするため開催しました。現在ボランティアセンターには34グループが登録されており、当日は15グループがブースやスタッフとして参加し、来場者約300人とともに一緒に会場を盛り上げました！



当日はボランティアクイズラリーも実施



会場受付などたくさんの運営ボランティアの皆さんに協力いただきました！



ハッピーマジックの簡単マジック体験



あぐい地域ねこの会の保護猫譲渡会



おもちゃ病院あぐいの簡単カーリングおもちゃ作り



こども食堂ほかほかも大盛況でした



ぶんぶんの本の読み聞かせ体験



防災ボランティアあぐいの飛散防止フィルムの貼り付け体験

福祉基金で住みよい福祉のまちづくり

福祉基金は、皆様の善意のお金を大切に積み立て、その利息を福祉の事業に使い住みよいまちづくりを進めようとするためのものです。



福祉基金

善意をありがとう

令和7年1月から令和7年3月までに下記の
方々よりご寄付いただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。

単位 円

福祉基金寄付

氏 名	寄 付 内 容		備 考
	区分	金額	
匿名希望	現金	1,200	

新職員を紹介します

令和7年4月から阿久比町社会福祉協議会に入社した新入社員を
紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

4月から地域包括支援センターで勤務させていた
だくことになりました西村です。最近の楽しみは、
市民農園での野菜や花の栽培です。私は人と話す
のが好きなので、これから出会う皆様とのご縁を
大切にしていきたいと思っております。私を見かけ
たら、お気軽に声をかけていただけると嬉しいです。
阿久比町のことや野菜づくりのことなどいろいろ教
えてください。どうぞよろしくお願いいたします。



西村 健太郎

お詫び

あぐいの福祉148号3ページに掲載し
ましたポスターの作者名に誤りがありま
した。関係者の皆様に深くお詫びいたし
ますとともに、改めて掲載させていただきます。



愛知県共同募金会 佳作

東部小学校5年 井上 華菜

パートホームヘルパーを募集しています。 私たちと一緒に働いてみませんか！

- 仕事内容 高齢者の家庭を訪問し介護等を行います。
- 資 格 介護福祉士、初任者研修終了者、ヘルパー2級以上、
看護師（准看護師）いずれかの有資格者
- 勤務時間 月曜日～金曜日、8:30～17:15の間で週に1日、1時間からでも可
- 給 料 時給 1,300円
- 問合わせ 社会福祉協議会 電話0569-48-7711 担当 品川

人権・行政・心配ごと相談

毎月第1・第3木曜日 9:30～11:30
阿久比町立中央公民館308号室

雑記

私は二年前に初めて出産をし、二年間育児を
いただき、昨年の四月から仕事に復帰しました。
復帰してからは、仕事と娘の保育園のこと、家事
のことなどで毎日があつという間で二年が過ぎま
した。

そんな中、最近、育児中の出来事を思い出
します。

育児中は、娘とどこへ行くにも一緒でしたが、
娘が生まれる前に予約した『夫と、一度は行きた
いね』と話していた有名な方のコンサートがあり、
初めて娘を実家に預けて聴きに行くことになり
ました。行く直前までなんともなかったのですが、
私にとって娘と一緒にいないことが不思議で、なん
となく寂しいような、ぼつかり穴が空いたような
気持ちになりました。行きと帰りの車の中で後
ろを振り返っては、「娘がいない」とつぶやく『娘ロ
ス』がおきておりました。それは、自分でも初め
ての感覚で、こんな気持ちを初めて経験しまし
た。娘の方も留守番の途中から、私たちのことを
探して大泣きしていたようで、帰ってお互い抱き
しめ合いました。娘と二人、心からお互いの必要
性を知った出来事でした。

そんな私ですが、昨年から娘を保育園にお願
いし、仕事に復帰することになり、娘と離れる時
間が増えました。母子ともにお互い離れること
に慣れ、娘も保育園に通い始めて二年、ご飯の食
方お片付け行事ごと友達との遊びを通して社
会性などを学び、すくすくと成長している姿を
心強く感じています。一方、あの時お互いを思っ
て抱きしめ合った気持ちは忘れず、大事にしまっ
ておきたいと思っています。

この一年間、普段娘を預かっていた保育園の保
育園の先生方はもちろん、娘が体調を崩し会社
を休むことも何度もあり、実家の両親や職場の
方の協力で働き続けることができました。改め
て感謝の気持ちを忘れず、私自身も仕事やブラ
イベートで、誰かの支えとなれるようにがんばっ
ていきたいと思っています。

I・K

資源を大切に！ この用紙は再生紙を使用しています。



編集発行／社会福祉法人 阿久比町社会福祉協議会

〒470-2212 阿久比町大字卯坂字丸の内85番地 電話 (0569) 48-7711 ホームページアドレス <https://www.agui-shakyo.or.jp>